

特別会計決算の状況

- 決算規模** 特別会計全体の決算規模は、歳入、歳出ともに前年度決算額を下回りました。
- 歳入** 歳入総額の合計は、98億567万6千円で、医療・介護関係の国民健康保健事業、介護保険事業、下水道関係の公共下水道事業などの歳入総額の増加の一方で、訪問介護関係の介護サービス事業、水道・下水道関係の簡易水道事業、集落排水事業などの歳入総額の減少により、前年度を2億9,159万9千円下回り、2.9%の減となりました。
- 歳出** 歳出総額の合計は、96億5,034万8千円で、歳入と同じ事由により、前年度を3億1,004万8千円下回り、3.1%の減となりました。
- 決算収支** 歳入歳出差引額の合計は、1億5,532万8千円となり、実質収支の合計についても、1億5,532万8千円の黒字となりました。
- (単位：千円)

会計名	会計の内容	歳入総額 ①	歳出総額 ②	歳入歳出差引額 ①-②=③	繰越財源 ④	実質収支 ③-④=⑤
国民健康保険事業	国民健康保険に加入している人の医療費の給付などを経理する会計	2,140,147	2,042,211	97,936	0	97,936
老人保健事業	75歳以上(一定の障がいのある人は65歳以上)の人の医療費の給付などを経理する会計	2,565,917	2,562,173	3,744	0	3,744
介護保険事業	居宅介護・施設介護・居宅支援サービスの給付などを経理する会計	1,869,154	1,835,068	34,086	0	34,086
介護サービス事業	訪問介護・居宅介護支援・通所介護サービスの提供などを経理する会計	6,126	5,969	157	0	157
簡易水道事業	簡易水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	987,758	977,642	10,116	0	10,116
公共下水道事業	下水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	1,561,897	1,556,893	5,004	0	5,004
集落排水事業	農業集落排水施設・漁業集落排水施設の維持管理や建設などを経理する会計	589,109	586,591	2,518	0	2,518
温泉事業	越前地区の温泉給湯施設の維持管理や建設などを経理する会計	59,253	57,486	1,767	0	1,767
農林漁業体験実習館事業	宮崎地区の「若竹荘」の管理運営を経理する会計	26,315	26,315	0	0	0
合計		9,805,676	9,650,348	155,328	0	155,328

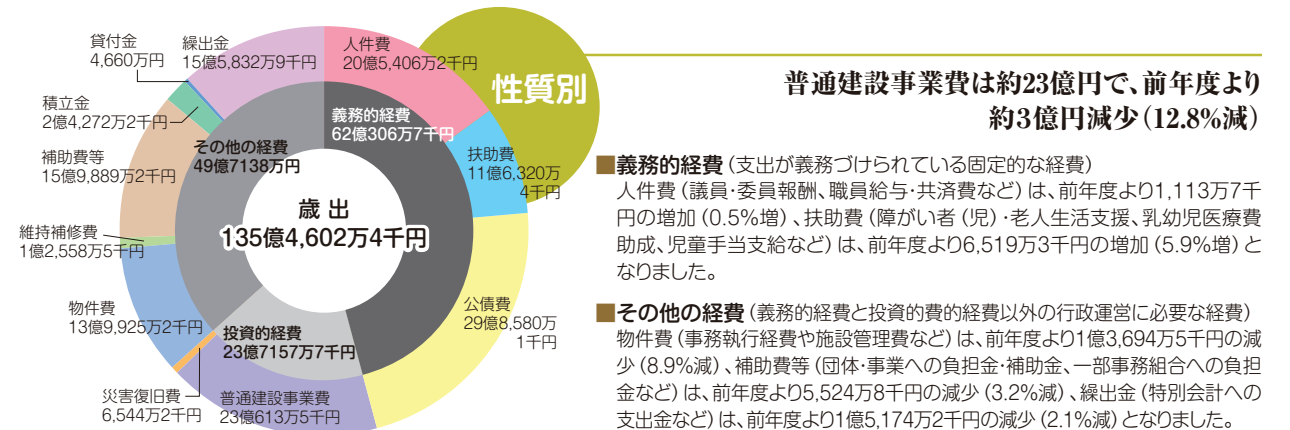
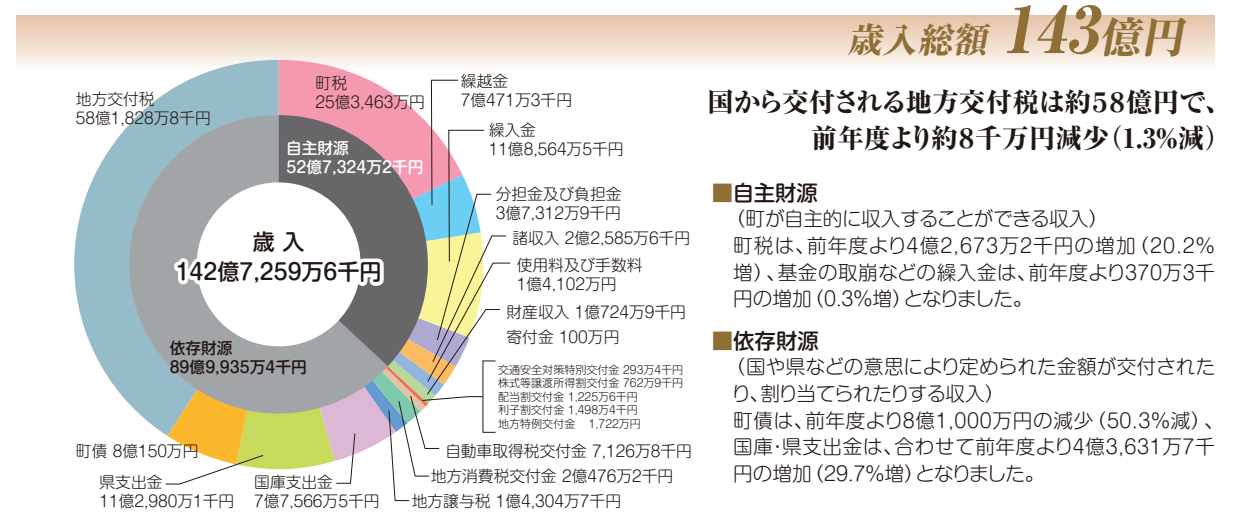
企業会計決算の状況

- 決算規模** 収益的収支と資本的収支の支出決算額の合計は、17億5,480万8千円で、国民宿舎事業、国民健康保険病院事業の支出決算額の減少の一方で、上水道事業の支出決算額の増加により、前年度を5,449万5千円上回り、3.2%の増となりました。
- (単位：千円)

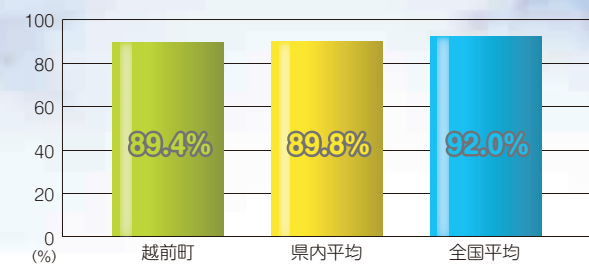
会計名	会計の内容	区分	収入決算額 ①	支出決算額 ②	収支額 ①-②=③	備考
上水道事業	上水道施設の維持管理や建設などを経理する会計	収益的収支	243,098	238,520	4,578	
		資本的収支	74,067	151,646	▲77,579	不足額は損益勘定留保資金で補てん
国民宿舎事業	「かれい崎荘」の管理運営を経理する会計	収益的収支	107,038	121,338	▲14,350	
		資本的収支	0	13,444	▲13,444	不足額は損益勘定留保資金で補てん
国民健康保険病院事業	「織田病院」の管理運営を経理する会計	収益的収支	1,149,541	1,159,885	▲10,344	
		資本的収支	2,835	69,975	▲67,140	不足額は損益勘定留保資金で補てん

一般会計決算の状況

- 決算規模** 決算規模は、歳入、歳出ともに前年度決算額を下回りました。
- 歳入** 歳入総額は、142億7,259万6千円で、町税や国庫支出金・県支出金などの増加の一方で、地方交付税や町債などの減少により、前年度を3億2,758万9千円下回り、2.2%の減となりました。
- 歳出** 歳出総額は、135億4,602万4千円で、町債の繰上償還に伴う公債費などの増加の一方で、普通建設事業費などの減少により、前年度を3億4,944万8千円下回り、2.5%の減となりました。
- 決算収支** 歳入歳出差引額は、7億2,657万2千円となり、これから翌年度に繰り越して実施する事業に充てる財源983万6千円を差し引いた実質収支は、7億1,673万6千円の黒字となりました。

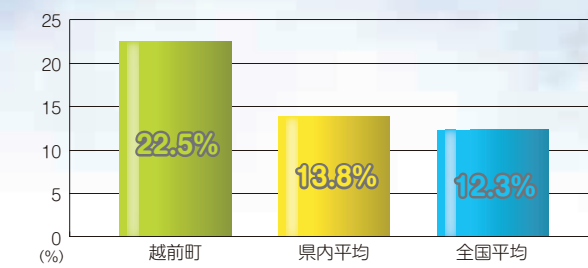


経常収支比率 89.4%



● **経常収支比率が89.4%とは、どういうことですか？**
 家計に例えて簡単にいうと、その年に給料などの自由に使える経常的な収入が1千万円だったとすれば、食費、光熱水費、家賃、借入金返済などの毎年経常にかかる経費に、約894万円を使ったということになります。

実質公債費比率 22.5%



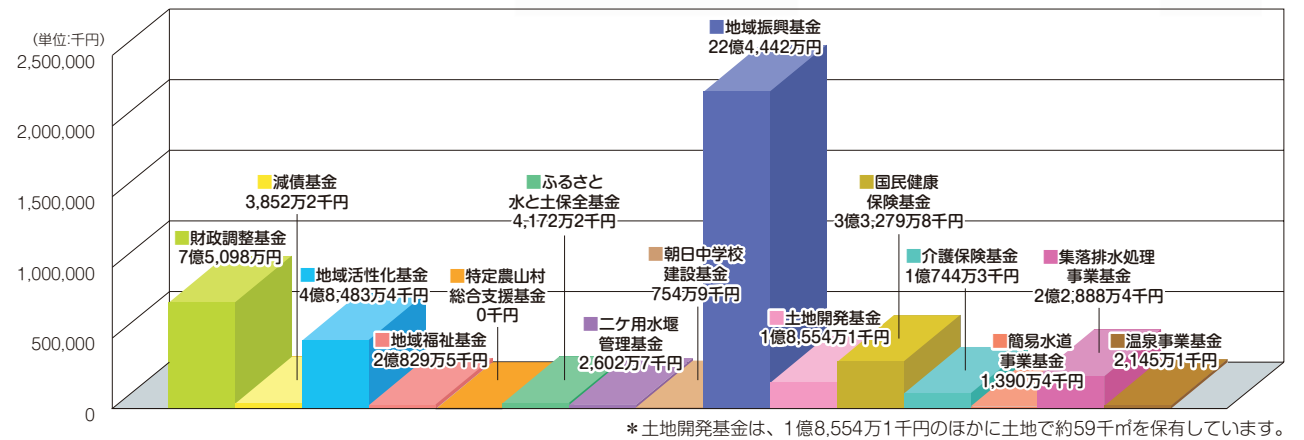
● **実質公債費比率が22.5%とは、どういうことですか？**
 家計に例えて簡単にいうと、その年を含めた前3年の平均で、給料などの自由に使える経常的な収入の約4分の1を家族全員の借入金返済にかかる経費に使ったということになります。

基金の状況

家計でいうと**預貯金にあたる基金全体の平成19年度末現在高は、46億9,237万円**で、財政調整基金*1や朝日中学校建設基金などの取崩により、**前年度と比べ10億4,345万2千円の減少**となりました。

※1 財政調整基金 … 一般会計で、年度間の財源の不均衡を調整し、財源が不足する場合にこれをうめるための財源などに充てる基金

基金全体の平成19年度末現在高 47億円



平成19年度に実施した主な事業

快適で安全に住めるまちづくり

- **より安全な道路への改良**
 - 町道改良事業… 乙坂気比庄線、北岩倉線の歩道設置、窪田線の消雪設備、天王陣屋線の道路拡幅工事、その他町道の舗装・側溝改良・消雪設備設置など 2億3,576万2千円
 - 国県道改良事業… 県施工による国道305号・365号・417号、主要地方道福井大森河野線・越前宮崎線・福井四ヶ浦線・武生米ノ線、県道別所朝日線などの道路改良に対する負担金 5,206万1千円
- **安全で良質な水の供給**
 - 朝日地区簡易水道統合整備事業… 森配水ポンプ場、大谷寺配水ポンプ場の設置、上糸生・小川・真木地係の配水管布設、下糸生・萩野地係の送水管布設などによる上水道区域、簡易水道区域、水道未普及地域の統合 3億6,620万1千円
 - 織田地区統合簡易水道事業… 笠松配水管の布設替え、笠松・山中浄水場整備など 1億636万5千円
- **美しい水と環境を守る**
 - 越前地区集落排水事業… 左右・梨子ヶ平地区での農業集落排水事業と米ノ～茂原地区での漁業集落環境整備事業による飲雑用水管路・下水道管路の布設と下水処理場の整備など 2億1,695万2千円
- **コミュニティバスの運行と路線バス利用の促進**
 - 地域公共交通活性化事業… コミュニティバス「フレンドリー号」の運行、路線バス利用の高齢者と高校生への運賃補助、路線バスの維持支援補助など 9,760万6千円
- **地域間情報格差の解消**
 - 織田地区ケーブルテレビ施設整備事業… 織田地区全域にケーブルテレビ網の整備 4億1,011万2千円

- **乳幼児医療費無料化対策事業…** 小学校就学前までのすべての乳幼児の医療費の一部助成 3,983万2千円

人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり

- **男女共同参画社会の推進**
 - 男女共同参画推進事業… 町内の小中学校や地区などを対象とした「気づき事業」の実施、男女共同参画まちづくり推進委員会や男女共同参画ネットワーク活動の充実、「越前町男女共同参画宣言都市記念式典」の開催など 295万2千円
- **学校施設の整備**
 - 朝日中学校建設事業… 朝日中学校と糸生中学校を統合した朝日中学校の校舎・屋内運動場の工事など 7億4,797万8千円
- **国際交流の推進**
 - 国際交流事業… 国際交流協会による国際交流フェスティバルの開催、在住外国人との文化交流事業、米国アラバマ友好都市提携3周年記念派遣事業など 978万9千円



元気で活力みなぎるまちづくり

- **農道や用排水路などの整備**
 - 県営農業農村整備事業… 県営の中山間地域総合整備事業（福井越前地区）・農道環境整備事業（朝日地区）による農道・用排水路・集落排水路などの整備に対する負担金 2,631万9千円
- **漁港の整備**
 - 漁村再生交付金事業… 玉川・米の浦漁港の船揚場・防波堤の改良など 2億2,308万8千円

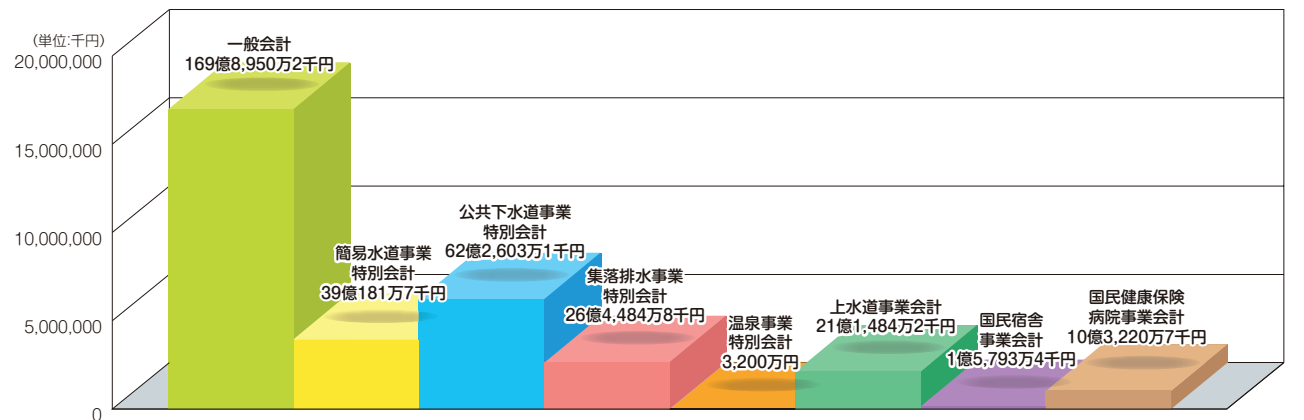
健康で安心して暮らせるまちづくり

- **出産と子育ての応援**
 - 妊婦・乳幼児健康診査事業… 妊婦健診および乳児健診の実施、第3子以降の子どもを出産する予定の妊婦の健診費用の助成 846万7千円

町債の状況

家計でいうと**借入金にあたる町債全体の平成19年度末現在高は、330億9,918万1千円**で、一般会計での繰上償還などにより、**前年度と比べ23億6,156万円の減少**となりました。

町債全体の平成19年度末現在高 331億円



財政指標

- **財政構造の弾力性** 経常収支比率*3は、前年度の95.1%より5.7ポイント改善しました。
- **実質的な公債費負担の健全度** 実質公債費比率*4は、前年度の24.4%より1.9ポイント改善しました。

※3 経常収支比率 … 地方税や普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。この数値が高いということは、経常的に支出される経費に使える財源が少ないということであり、財政の硬直化を表す。

※4 実質公債費比率 … 地方税や普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、「公債費」や「上下水道・病院の公営企業債に対する繰上金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額」に充当されたものの占める割合のその年度を含めた前3年度の平均値。18%以上の地方公共団体は、地方債の発行に際し許可が必要となる。